

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	地方バス路線運行維持費補助金(九大線)		
担当所属	地域振興課	連絡先	092-332-2062

【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当規程等	糸島市地方バス路線運行維持費補助金交付規程		
基本目標	基本目標4__快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり		
政策	政策3__交通環境の整備充実		
施策	施策⑥__便利で効率的、安全・安心な公共交通の充実を図る		
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<p>【目的】 乗合バス事業者の九大線運行維持に要する経費を補助することで、市内から九州大学までの交通アクセスを整備し、九大生や教職員の市内への定住促進及び市の活性化を図る。なお、市では「糸島市地域公共交通網形成計画」の事業計画に基づき、市内から九州大学までの交通アクセスを整備することとしている。</p> <p>【対象事業】 生活交通路線として必要なバス路線の運行を確保するための乗合バス事業</p> <p>【対象者】 乗合バス事業者</p>	<p>① 九大線の利用者数（令和2年度）</p> <p>② 九大関係者のうち糸島市居住者（令和2年度）</p>

【改革案】

今後の実施方向性	やり方改善
車両の大型化や路線、タイヤの見直しにより効率的かつ輸送力を強化でき、コストを維持しつつ利便性を向上させることにより九州大学関係者の定住を促進することができる。	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 人	142,351	130,000
	② 人	2,738	2,200

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	15,238,000	24,675,000

【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題	九州大学伊都キャンパスの移転開始に伴い、市内から大学への通勤通学の交通手段を確保するために九大線の運行を開始した。
現状の周辺環境・課題	九州大学統合移転完了に伴い、伊都キャンパスに通う学生・教職員の数が増加したことにより、雨天時などにはバスに乗りきれない利用者があるなど輸送力の強化が課題となっていたため、一部路線の運行車両を大型化したものの、利用者は減少した。
今後の予想される周辺環境・課題	糸島市内へ定住した九大関係者および通勤通学利用者に対する公共交通環境を整備するため、更なる利便性及び輸送力の強化が必要である。
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等	九大生等九大関係者は、増便や車両の大型化による輸送力の強化を望んでいる。